

# GX率先実行宣言

社会全体のGX加速化に向けて、GX製品・サービスの早期社会実装が極めて重要であることから、当社は自らのScope 1、2の削減取組に加え、これらの製品・サービスが有するGX価値の評価を通じてGX製品の社会実装に積極的に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進することを宣言します。

## 1. 早期の社会実装に貢献するGX製品

当社は、以下に関連するGX製品の早期社会実装に貢献します。

a.	分類	低炭素水素等
	対象	合成メタン
b.	分類	GI基金支援技術を活用した製品
	対象	CO2等を用いた燃料製造技術開発

## 2. 具体的な行動内容

当社は、前項で選択した事項に関連して、具体的には以下の行動を推進することで、GX製品の早期社会実装と社会のGXに貢献します。

a.	合成メタン
対象行動	宣言対象製品の調達・購買
概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・当社が販売する都市ガスの原料を天然ガスから合成メタン等に切り替えることで、都市ガス需要家の環境負荷低減を図ります。</li><li>・サプライチェーン全体での環境負荷低減に向け、サプライヤーと共同で技術革新を促進し、安定的かつ持続可能な合成メタン供給体制の構築を支援します。</li></ul>

b.	CO2等を用いた燃料製造技術開発
対象行動	研究開発・実証
概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・当社が販売する都市ガスの原料を天然ガスから合成メタン等に切り替えることで、都市ガス需要家の環境負荷低減を図ります。</li><li>・「GI基金事業／CO2等を用いた燃料製造技術開発」プロジェクトの「SOECメタネーション技術革新事業」を通じて、エネルギー変換効率を55～60%から85～90%に向上させる技術を開発しており、合成メタン製造コストの大幅な低減、合成メタンの普及拡大を目指します。</li><li>・2024年6月にラボスケール試験装置を完成させており、計画通り事業進捗を進めております。</li></ul>

## 3. サーキュラーエコノミーの推進

当社は、サーキュラーエコノミーを推進しGXを実現するため、自らのサーキュラーパートナーズ（CPs）への参画や、製造業者と廃棄物リサイクル業者との事業連携を自ら進めるとともに、再生材の調達を積極的に検討することによって、新たな資源の使用や消費を最小限に抑え、既存の資源の価値を最大化する経済システムの構築を目指します。

#### 4.温室効果ガス削減目標の設定

当社は、サプライチェーン全体でのGXを推進すべく、Scope3の削減に向けて以下の目標を設定します。また、第2項に記載した行動内容が、Scope3の削減に対してどのような効果があるかを以下に示します。

※ 第2項に記載した行動内容がScope1,2の削減に資する場合は、Scope1,2の削減に関して以下に示します。

a.	合成メタン
削減対象	Scope 3
目標年度	2030年度
基準年度	2017年度
目標削減率	15%
削減目標における選択対象の位置づけ	2030年度にスコープ1～3の合計で2017年度比15%の削減を目指しており、複数の手段で達成を目指すうちの1つとして、合成メタン等を調達・販売することで弊社のスコープ3（販売した製品の使用）が削減される。

b.	
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

#### 5.GX製品の社会実装促進に向けた目標の設定

当社は、前項に掲げた削減目標に基づき、以下の時間軸・定量的目標に沿って、第1項で選択したGX製品・技術及びそれらから派生するサービスの社会実装に貢献します。

a.	合成メタン
目標年度	2030年度
定量的目標	都市ガス小売供給量1%相当の合成メタン等を導管注入

選択対象に関する定量的目標の概要	2026年度 Daigasグループ経営計画に記載している定量目標
------------------	----------------------------------

b.	
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

## 6.適用範囲

当宣言は、以下の範囲まで適用されます。

適用範囲	子会社
------	-----

当社は、この宣言に基づいてGX価値を評価し、GX製品の早期の社会実装に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進してまいります。

2026年5月22日

大阪ガス株式会社  
 代表取締役社長 藤原 正隆